

大会名 Competition	第19回能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-15	Year Month Day Time 2006 年 5 月 5 日 15 : 00
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A	チーム B
Montros Christia	能代工高
116	92
○	●
23 1st 21	
28 2nd 24	
35 3rd 20	
30 4th 27	
OT	

主審:Referee
藤 垣 庸 二 (宮城)
副審:Umpire
片 寄 達 (宮城)
テーブル・オフィシャル:Table officials
秋田県立能代北高等学校

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	✓	Brett Blake	CAP	0	0	0	0	0	4	×	下山 竜 良	CAP	21	7	0	0	3
5	×	Taishi Ito		6	2	0	0	1	5	×	満原 優 樹		8	0	4	0	3
12		Sean Rascoe		-	-	-	-	-	6	×	長谷川 技		13	1	4	2	1
13	×	Troy Brewer		6	2	0	0	2	7	×	渡部 敬 祐		3	1	0	0	2
15	×	Thomas Benjamin		17	0	8	1	1	8	×	西山 達 哉		33	5	9	0	1
21	×	Greivis Vasquez		58	3	23	3	1	9	✓	高橋 健太郎		2	0	1	0	0
24	✓	Brandon Rascoe		2	0	1	0	0	10	✓	遠藤 悠 亮		6	0	3	0	0
32	×	Terrell Vinson		25	0	12	1	3	11		鈴木 啓 介		-	-	-	-	-
44		Jashua Mwamlima		-	-	-	-	-	12		宮川 光		-	-	-	-	-
54	✓	William Alston		2	0	1	0	4	13		永須 亘		-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-	14	✓	館山 健 太		6	2	0	0	0
				-	-	-	-	-	15		村上 永 英		-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-	16		高橋 陽		-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-	17		熊谷 健		-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-	18		石川 朝		-	-	-	-	-
コーチ		Arthur Vetter							コーチ		加藤 三 彦						
アシ		David Adkins							アシ		佐々木 信 吾						
合 計				116	7	45	5	12	合 計				92	16	21	2	10

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

ここまで、すべて100点ゲームで圧倒的な強さを見せてきたモントロスに対し、同じくこれまで全勝の能代工がどのような試合展開を見せるかが注目された最終戦。
第1クォーター。モントロスは、#21バスケエスのカットインからの速攻で上々の滑り出し。対する能代工は、#5満原、#8西山のシュートで対抗する。モントロスは#21バスケエスのカットイン、#32ウインツのゴール下など高さで能代工を苦しめる。残り4分、能代工タイムアウト。#7渡部に変え#10遠藤を投入。能代工はディフェンスリバウンドが取れ始め速い展開へと持ち込む。ここから#6長谷川のカットイン、#5満原、#8西山のシュートで追い上げ、23-21、モントロス2点リードで第1クォーターが終了した。
第2クォーター。立ち上がり、能代工は#8西山などの連続シュートで逆転。すかさずモントロスがタイムアウト。タイムアウト後、モントロスはシュートが決まりだす。それに対し能代工はシュートミスが目立ち、点差が徐々に開き始める。能代工は、#14館山を投入。期待に応え連続3Pを決め1点差に迫る。ここから互いに一進一退の攻防が続き、51-45、モントロス6点リードで第2クォーターが終了した。
第3クォーター。モントロスは#5イトウの3Pを皮切りに連続14得点。一方能代工は、オフェンスのリズムがつかめず、5分間無得点。たまたま能代工はタイムアウト。タイムアウト後、激しいディフェンスからボールを奪い、#7渡部、#4下山、#8西山が3連続3Pを決め点差を詰める。逆にここでモントロスがタイムアウト。リズムに乗りかけた能代工の流れを止める。モントロスは、#21バスケエスを中心に得点を重ね、86-65の21点差で第3クォーターが終了した。
第4クォーター。能代工は#8西山の11連続得点などで差を詰め、残り8分で11点差に迫る。能代工が流れをつかみかけた所で、モントロスがタイムアウト。モントロスは能代工の3Pを徹底してマーク。インサイドを中心としたオフェンスに切り替え、再び点差を広げ始める。能代工は、#8西山のスティールからのシュート、#4下山の3Pで追い上げを図るが、タイムアップ。116-92でモントロスが勝利を取めた。
高さとパワーのモントロスに対し、能代工はスピードで対抗。速攻からのレイアップや3Pなど相手を上回る展開を見せる場面もあった。後半、体力に勝るモントロスが制空権を支配、徐々に点差を広げ、最終試合も100点ゲームで優勝を決めた。